

平成26年度
補正予算の概要

(平成27年3月議決分)

1 一般会計 歳入歳出予算総括表(平成27年3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 市税	14,600,907		14,600,907
2 地方譲与税	318,000		318,000
3 利子割交付金	31,000	△ 1,000	30,000
4 配当割交付金	60,000	47,000	107,000
5 株式等譲渡所得割交付金	4,000	49,000	53,000
6 地方消費税交付金	1,060,000		1,060,000
7 ゴルフ場利用税交付金	59,000		59,000
8 自動車取得税交付金	29,000		29,000
9 地方特例交付金	57,015		57,015
10 地方交付税	5,007,317	13,166	5,020,483
11 交通安全対策特別交付金	16,000		16,000
12 分担金及び負担金	427,473	△ 54	427,419
13 使用料及び手数料	225,448		225,448
14 国庫支出金	4,259,299	5,350	4,264,649
15 県支出金	2,080,066	15,543	2,095,609
16 財産収入	55,608	96	55,704
17 寄附金	217	10,619	10,836
18 繰入金	485,960	21,432	507,392
19 繰越金	827,522		827,522
20 諸収入	1,437,121	8,681	1,445,802
21 市債	3,763,300	△ 221,400	3,541,900
計	34,804,253	△ 51,567	34,752,686

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 議会費	284,703		284,703
2 総務費	5,273,714	3,565	5,277,279
3 民生費	11,993,101	△ 80,626	11,912,475
4 衛生費	1,660,128	21,300	1,681,428
5 農林水産業費	284,446	△ 5,451	278,995
6 商工費	439,109	112,636	551,745
7 土木費	4,382,661	△ 21,370	4,361,291
8 消防費	1,871,803	△ 65,175	1,806,628
9 教育費	3,817,665	△ 16,446	3,801,219
10 災害復旧費	5		5
11 公債費	4,084,768		4,084,768
12 諸支出金	662,150		662,150
13 予備費	50,000		50,000
計	34,804,253	△ 51,567	34,752,686

補正予算のポイント

今回の一般会計補正予算は、第1回定例議会(平成27年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ5,156万7千円を減額し、予算総額を347億5,268万6千円としました。

今回の補正予算の基本的な考え方は、①国の緊急経済対策による第1次補正予算で創設された「地域住民生活等緊急支援交付金」を活用した、地域消費喚起のプレミアム付商品券の発行事業、子育て世帯の支援事業等。②臨時福祉給付金給付事業の減額。③各事業の執行残の計数整理。以上3つの考え方にに基づき補正を行いました。以下にその主な内容を解説します。

なお、継続費を設定した本庁舎耐震補強大規模改修事業については、平成26年度の事業費確定により、年割額を下記の表のとおり減額しました。

継続費

(単位:千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
2 総務費	1 総務管理費	本庁舎耐震補強大規模改修事業	550,067	平成25年度	153,027	521,862	平成25年度	153,027
				平成26年度	397,040		平成26年度	368,835

【歳出】

●地域住民生活等緊急支援交付金事業・・・2億3,133万円

・地域住民生活等緊急支援交付金事業(地域消費喚起・生活支援型)1億2,086万2千円

(産業振興課)

地域における消費喚起やこれに直接効果を有する生活支援策に対する国の交付金を活用し、プレミアム付商品券発行事業を商工会が実施するため補助金を交付します。(平成27年度に繰り越して実施します)

・地域住民生活等緊急支援交付金事業(地方創生先行型)1億1,046万8千円

(政策調整課、市民協働課、子育て支援課、保健センター、水とみどりの課)

親子ふれあい推進事業や子供向け予防接種事業、公園再整備事業等(平成27年度に繰り越して実施します)

●臨時福祉給付金給付事業・・・2億5,163万1千円減(社会福祉課)

本年度実施した臨時福祉給付金給付事業において、国の算出方法に基づき対象者である非課税者の人数を最大35,000人になると推計し予算計上しましたが、最終の給付見込みが14,100人、加算対象者が8,000人になったため、給付金及び事務費を減額します。

●障害児施設通所給付費・・・1,474万9千円増(障害福祉課)

放課後デイサービス事業所が3事業所新設され、利用件数が増加したことにより増額します。

●特別会計繰出金・・・8,143万5千円増

介護保険特別会計繰出金42万8千円増(高齢福祉課)

国民健康保険事業特別会計繰出金 6,265 万 5 千円増(国保年金課)

後期高齢者医療特別会計繰出金 1,835 万 2 千円増(国保年金課)

【歳入】

●配当割交付金…4,700 万円増(財政課)

株式等譲渡所得割交付金…4,900 万円増(財政課)

県の 3 月補正で増額補正が行われ、市への交付額も増となる見込みのため補正します。

●普通交付税…1,316 万 6 千円増(財政課)

昨年 7 月の決定では、調整率を乗じた 45 億 8,231 万 7 千円で決定されていましたが、2 月 3 日に国の第 1 次補正予算が成立し、普通交付税の総額が増額され追加交付となり、45 億 9,548 万 3 千円の交付決定がされたため増額します。

●国・県支出金…2,089 万 3 千円増

・地域住民生活等緊急支援交付金 1 億 9,097 万 3 千円増(財政課)

地域消費喚起・生活支援型…1 億 2,086 万 2 千円

地方創生先行型…7,011 万 1 千円

・地域活性化・効果実感臨時交付金(がんばる地域交付金)4,716 万円増(財政課)

・臨時福祉給付金給付事業費補助金 2 億 5,163 万 1 千円減(社会福祉課)

・子育て支援対策臨時特例交付金 3,328 万 3 千円減(子育て支援課、保健センター)

・民間保育園子育て支援体制緊急整備事業補助金 1,146 万 4 千円減(子育て支援課)

●市債…2 億 2,140 万円減(財政課)

・合併特例債…9,270 万円減

・緊急防災・減債事業債…6,190 万円減

地方債充当事業の確定により、地方債を減額します。

●基金繰入金…2,143 万 2 千円増

・公共施設整備基金繰入金 309 万 5 千円減(管財課)

・みどりの基金繰入金 5 万円減(水とみどりの課)

・学校施設整備基金繰入金 59 万 4 千円減(教育総務課)

・財政調整基金繰入金 2,517 万 1 千円増(財政課)

財源調整のため、財政調整基金繰入金を増額します。

※3 月補正後の基金残高は、財政調整基金で 29 億 9,183 万 6 千円、公共施設整備基金で 5 億 1,662 万 6 千円、みどりの基金で 9,889 万 5 千円、学校施設整備基金 2 億 4,456 万 7 千円となります。

2 取手駅西口都市整備事業特別会計 歳入歳出予算総括表(平成27年3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 使用料及び手数料	9		9
2 国庫支出金	427,900	△ 129,650	298,250
3 県支出金	57,560	△ 25,763	31,797
4 繰入金	464,637	27,633	492,270
5 繰越金	16,098		16,098
6 諸収入	3,581	△ 880	2,701
7 市債	595,700	120,300	716,000
計	1,565,485	△ 8,360	1,557,125

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 事業費	1,309,397	△ 8,360	1,301,037
2 公債費	255,588		255,588
3 予備費	500		500
計	1,565,485	△ 8,360	1,557,125

補正予算のポイント

今回の取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成27年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ836万円を減額し、予算総額を15億5,712万5千円としました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- ウェルネスプラザ整備工事に伴う補償費・・・400万円減(中心市街地整備課)
電柱移設補償の対象物件減となったため、減額します。
- 建物移転補償費・・・240万円減(区画整理課)

【歳入】

- 社会資本整備総合交付金(まちづくり交付金分)・・・1億2,965万円減(中心市街地整備課)
ウェルネスプラザ整備費の補助配分額変更に伴い補助金が減となったため、減額します。
- 合併特例債・・・1億2,030万円増(中心市街地整備課)
ウェルネスプラザ整備費の補助配分額変更に伴い補助金が減となったため、合併特例債を増額します。
- 一般会計繰入金・・・2,763万3千円増(中心市街地整備課・区画整理課)

3 国民健康保険事業特別会計 歳入歳出予算総括表(平成27年3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 国民健康保険税	3,142,360		3,142,360
2 使用料及び手数料	1,100		1,100
3 国庫支出金	2,225,404	△ 2,943	2,222,461
4 療養給付費等交付金	760,892	△ 136,115	624,777
5 前期高齢者交付金	3,859,998		3,859,998
6 県支出金	675,651	△ 1,734	673,917
7 共同事業交付金	1,212,000	△ 55,927	1,156,073
8 財産収入	80		80
9 繰入金	746,947	62,655	809,602
10 繰越金	738,400		738,400
11 諸収入	22,125		22,125
計	13,384,957	△ 134,064	13,250,893

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	260,671		260,671
2 保険給付費	8,863,785		8,863,785
3 後期高齢者支援金等	1,866,873	△ 57,879	1,808,994
4 前期高齢者納付金等	2,388	△ 962	1,426
5 老人保健拠出金	101		101
6 介護納付金	709,204	△ 5,816	703,388
7 共同事業拠出金	1,212,010	△ 69,407	1,142,603
8 保健事業費	130,834		130,834
9 基金積立金	200,078		200,078
10 公債費	1,083		1,083
11 諸支出金	117,930		117,930
12 予備費	20,000		20,000
計	13,384,957	△ 134,064	13,250,893

補正予算のポイント

今回の国民健康保険特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成27年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ1億3,406万4千円を減額し、予算総額を132億5,089万3千円としました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 後期高齢者支援金・・・5,778万2千円減(国保年金課)
社会保険診療報酬支払基金より後期高齢者支援金の額が決定したことにより減額します。
- 高額医療費共同事業拠出金・・・1,763万3千円減(国保年金課)
高額医療費共同事業拠出金の見込が減となったため、減額をします。
- 保険財政共同安定化事業拠出金・・・5,177万4千円減(国保年金課)
保険財政共同安定化事業拠出金の見込が減となったため、減額をします。

【歳入】

- 退職者療養給付費等交付金・・・1億3,611万5千円減(国保年金課)
社会保険診療報酬支払基金により療養給付等交付金が決定したことにより減額します。
- 高額医療費共同事業交付金・・・2,398万4千円減(国保年金課)
- 保険財政共同安定化事業交付金・・・3,194万3千円減(国保年金課)
- 一般会計繰入金・・・6,265万5千円増(国保年金課)

4 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出予算総括表(平成27年3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 後期高齢者医療保険料	887,545	25,282	912,827
2 使用料及び手数料	120		120
3 繰入金	1,074,849	18,352	1,093,201
4 繰越金	10,031		10,031
5 諸収入	2,104		2,104
6 県支出金	0	543	543
計	1,974,649	44,177	2,018,826

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	126,906	455	127,361
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,835,612	43,722	1,879,334
3 諸支出金	11,631		11,631
4 予備費	500		500
計	1,974,649	44,177	2,018,826

補正予算のポイント

今回の後期高齢者医療特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成27年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ4,417万7千円を増額し、予算総額を20億1,882万6千円としました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 後期高齢者医療広域連合医療保険料納付金・・・4,372万2千円増(国保年金課)
保険料収入及び低所得者軽減分精算金の増額に伴い、保険料納付金を広域連合に納付するため増額します。

【歳入】

- 後期高齢者医療保険料・・・2,528万2千円増(国保年金課)
 - ・現年度分特別徴収保険料・・・903万8千円増
 - ・現年度分普通徴収保険料・・・1,624万4千円増
- 一般会計繰入金・・・1,835万2千円増(国保年金課)

5 介護保険特別会計 歳入歳出予算総括表(平成27年3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 介護保険料	1,536,979	28,877	1,565,856
2 使用料及び手数料	121		121
3 国庫支出金	1,197,563	9,580	1,207,143
4 支払基金交付金	1,904,615	△ 112	1,904,503
5 県支出金	977,845	△ 68	977,777
6 財産収入	109		109
7 繰入金	1,035,310	△ 37,596	997,714
8 繰越金	266,607		266,607
9 諸収入	13,015		13,015
計	6,932,164	681	6,932,845

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	143,133	681	143,814
2 保険給付費	6,531,033	△ 389	6,530,644
3 地域支援事業費	107,629		107,629
4 諸支出金	130,369	389	130,758
5 予備費	20,000		20,000
計	6,932,164	681	6,932,845

補正予算のポイント

今回の介護保険特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成27年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ68万1千円を増額し、予算総額を69億3,284万5千円としました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 介護保険事務処理システム変更委託料・・・41万1千円増(高齢福祉課)
- 介護保険認定ソフト改訂に伴うシステム変更委託料・・・27万円増(高齢福祉課)
- 施設介護サービス給付費・・・38万9千円減(高齢福祉課)
- 災害臨時特定利用者介護サービス費・・・38万9千円増(高齢福祉課)

【歳入】

- 介護保険料(特別徴収分)・・・6,374万5千円増(高齢福祉課)
- 介護保険料(普通徴収分)・・・3,486万8千円減(高齢福祉課)
- 普通調整交付金(国庫)・・・897万9千円増(高齢福祉課)
- 介護給付費準備基金繰入金・・・3,802万4千円減(高齢福祉課)

6 競輪事業特別会計 歳入歳出予算総括表(平成27年3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 入場料収入	2,780	△ 292	2,488
2 車券発売収入	1,300,000	△ 443,689	856,311
3 車券発売副収入	1		1
4 財産収入	24		24
5 繰越金	6,000	44,793	50,793
6 諸収入	40,620	13,808	54,428
計	1,349,425	△ 385,380	964,045

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 競輪事業費	1,335,042	△ 395,380	939,662
2 公債費	164		164
3 諸支出金	10,000	10,000	20,000
4 予備費	4,219		4,219
計	1,349,425	△ 385,380	964,045

補正予算のポイント

今回の競輪事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成27年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ3億8,538万円を減額し、予算総額を9億6,404万5千円としました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

●通常競輪事業・・・3億9,918万8千円減(産業振興課)

車券発売収入の減収に伴い、的中車券払戻金が3億2,462万3千円の減額となり、また売上額に対して支払う施設使用料や交付金も減となったため減額します。

【歳入】

●車券発売収入・・・4億4,368万9千円減(産業振興課)

通常競輪6日間の車券購買額の減収により、車券発売収入を減額します。